

【え？】立花さん「海老名市を日本のドバイに！」

⇒編集後記で

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【無料動画】1年で6億4千万円を築き上げた
FXトレーダーから学ぶ！**

1年で6億4千万円を築き上げた
圧倒的トレード戦略を代暴露！

相場の本質を学ぶための

<動画>【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

**<動画>【FXで年6億円を稼ぐ
山之内流 時間軸の法則とは！？】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=170>

【山之内 FX 講座】（初級編で動画×3本をアップロードしてます！）

⇒ <http://yamanouchi-school/>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

どうもゆうです！

さてさて、ここ最近、世界全体の政治が QE 4 の実質的開始で

動いてきておりましてよく世界の情勢書いてますが

最近なんといってもやはり面白いのは

これから在日米軍撤退議論を 2020 年代に控えてる

日本政治の動きではないかな

と思います。

それでこの前埼玉県補選で立花さんは落選されたわけですが、

ただこれも彼が想定していたことではありましたので

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画 PDF】衆院選に向けて動く N 国党・立花氏の選挙戦略から
投資家が学ぶこと！（マキャベリズム）**

http://fxgod.net/pdf/tachibana_makyaberi.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ラッキーパンチはなかったということで

あまり驚くことではなかったものですが

早速彼は以前にご自身がおっしゃっていた

海老名市長選に向けてすごいスピードで動いてますね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【海老名をドバイに】

海老名市長選挙出馬会見 NHK から国民を守る党 立花孝志

<https://youtu.be/3YJqmsHuJPU>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

あと、やはり私なんかが注目していたのが

この立花さんが落選するでしょう、みたいにご自身の分析で

事前におっしゃっていてそれをメルマガで扱いましたが

やはり「負け方」が大事ですから

「落選といってもどのように負けるか」

っていうところをすごい注目したのですが

今回落選といっても16万8000票を取っちゃった

ってことですよ。

それでこの前書いたのが以下の内容ですが

「

それでこれはもろに投資家の考え方
とにかく本当の意味で負けってのは

近年中にある衆院選で負けて
党勢拡大できないということですから、

それが起こらないように、
すでに今は
いくつもシナリオ立てて

最終的な衆院選、
そしてその後2025年あたりに
また大きな動きがありますが

それに繋げていこうという動きをしてる
わけですね。

すなわち長期で見ても最終的に勝てるように
今動いてると。

それでマスコミとしては
おそろくだけど

参院補選で立花氏が勝ってもあまり報道は
しないだろうけど、

負けたら

「立花負けたぞー！！」

と比較的大きくネガティブ報道することが
想定されるけど、

たぶんこれも計算されてると思われませんか。

ただ選挙の基礎である地方議会では

N 国党の人がどんどん増えていき、

衆院選の時気付いたら N 国党が
かなり話題になってしまってる、

みたいなイメージでしょう。」

このように書いたけど、やはり今回の16万8000票を見ると・・・

その流れが作られておりますよね。

(従来なら N 国はあの投票率なら12万票前後だったはずなので)

それでなんと今回は・・・

「海老名市をドバイにする」なんて話も

急に言い出したわけですが

今日はこの辺について考えます。

編集後記で！



**<動画> 【年収6億のFXトレーダーが
「ろうそく足」を語り尽くす!】**



さてさて、この前メルマガで告知していた

年間6億円とかをFXで稼いでしまう、

山之内さんのFX新講座が今日から公開となりました～

すごい反響ですね！

ちなみに今回の内容は無料ではありますが

それこそあなたの持つてる FX 教材や FX 塾の内容と

あわせていただいても、大いに成績向上につながるものでしょうから

是非見てみてくださいね！！

年間何億円も稼ぐとんでもない人ってのが日本には

少数いますが・・・

「こういう視点で相場を見てる」

ってのは大変勉強になると思います！

特に若い20代とかの読者で塾とか教材

経済状況で買えません・・・

みたいな人もいらっしゃるんですが

そういう若い野心ある若者こそ

こういう動画で学んでほしいと思います。

それでまず初級編は動画が3本上がってますが

今後更新していく予定なのですが

この動画がまた「深い」と思います！

「ろうそく足」ひとつについてあなたはここまで

語れますか？

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

<動画> 【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

それでやはり年間6億円とか稼ぐトレーダーですので

「相場に関する哲学部分」がすごい方なのですが

彼なんかは「相場の原理原則や基礎が分かっている

その上で技術が洗練されていれば

よく言われる投資のメンタル問題は関係なくなる」

という信念を持ってる方です。

それなのでこの「ろうそく足」一つに関しても・・・

全然哲学が普通の人より「深い」ってのが

分かると思います。

それで早速、

山之内さんが文章でも

「ろうそく足」を語ります！

=====

山之内流
ローソク足についての解説

こんにちは。山之内です。
今回はローソク足について皆さんと一緒に勉強していきたいと思います。
長くなると飽きてしまいますので、
要点だけ抑えてお話していきたいと思います！

目次

- 1 ローソク足って何だろう？
- 2 陽線と陰線の数
- 3 ローソク足のヒゲとは？

4 酒田五法って使えるの？

【1 ローソク足って何だろう？】

■ 「ローソク足とは？

ローソク足とは相場の値動きを時系列に沿って
図表として表示する手法の一つで

表示される形状がローソクに似ていることから
ローソク足と呼ばれています。」

ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、
ローソク足とは日本で生まれたテクニカル指標です。

ローソク足は相場の強弱＝モメンタムというものを
押し量るにとっても効果的と言われていて、
私もそうだと思います。

例えば 1 時間のローソク足だと 1 時間。

週足のローソク足だと 1 週間。

その一定期間内の相場の動きというものを記録しており、
情報量が非常に多い、見やすいというのが特徴です。

ご存じの方にとっては今さらかと思いますが、
ローソク足というのは

リアルタイムで値動きを表示する
過去の値動きを簡単に表すことが出来る。

この二点においてはほかの
どのインジケータよりも素晴らしいのではないかと思います。

このローソク足を観察するというのが
非常に重要だと私は思っています。

陽線であれば赤、陰線であれば青。

国内のFXの口座でしたら、恐らくこのような配色
になっているのではないのでしょうか。

「始値」「終値」「高値」「安値」の
4つの値段があります。これを四本値と言います。

この中で一番大事なものは終値だと私は思っています。

移動平均線もローソク足の終値を基準に算出されています。

代表的なインジケータでいうと、移動平均線など、
すべてクローズが適用の数値となっています。

ではなぜ終値が重要なのか？

少し踏み込んだお話をしていきます。

高値、安値というのは、

~~~~~

多くのトレーダーがそれをOKしなかった。

~~~~~

つまり、「その値段は高すぎる。」

「その値段は安すぎる。」ということで、付いた値段。

高値というのは、「ここは高すぎるから売った方が良い。」

~~~~~

と考えたトレーダーが多かったというところがあり、

~~~~~

逆を言えば、安値の場合「買った方が良い。」

~~~~~

と考えたトレーダーが多かったという証拠です。

~~~~~

もちろん、「売りの決済があった」

「買いの決済があった」等もありますが、

それは一度置いておきます。

では、始値とは何でしょう？

1時間足であれば1時間のスタート時点で、

「この価格で買いたい。」もしくは、「売りたい。」と考えた

トレーダーが一定数居たという証拠になります。

もし始値で、すべてのトレーダーが
買いも売りもしなかった場合は、

ローソク足というものも生まれないということになります。

そしてこの四本値の中で、

たったひとつ終値というものだけが、

~~~~~

参加しているトレーダーの中で

~~~~~

誰も売りも買いもしなかったという値段になります。

~~~~~

つまり、その大多数のトレーダーによってOKされた値段だからこそ

~~~~~

終値が最も重要視されると言われています。

~~~~~

では、そのローソク足を観察するときに  
大事なポイントというのは、大きく分けて2つ。

「陽線及び陰線の数」もしくは「ヒゲ」

それでは順番に解説していきます。

動画解説はこちら



★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**<動画> 【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 2【陽線と陰線の数】

陽線と陰線とは？

陽線⇒ 始値よりも終値が高いローソク

陰線⇒ 終値が始値よりも低いローソク

見落としがちなのですが、

典型的なパーフェクトオーダー（上昇トレンド）

においては、陰線の数が多いはずがないのです。

つまり、陽線の数が多い上昇トレンドは買いの相場。

陰線の数が多ければ、売りの相場。

つまり下降トレンドとなります。

~~~~~

【3 ローソク足のヒゲとは？】

1本のローソク足が形成される間の
値動きのサンプルのようなものを表しています。

1時間足であれば1時間。

日足であれば1日に、一旦は高値を付けたが、押し戻された。

というのが、ヒゲの現れ方になります。

このことから高値安値というのは
抵抗のポイントとして機能することが非常に多いです。

例えば週足四本値のうち、
高値と安値はヒゲの先端に置きます。

そのラインでのブレイク、
もしくは反転というのが
明確なエントリーの基準となっていると思います。

上下を問わずヒゲの長さというのは

~~~~~

極めて重要な情報を教えてくれます。

~~~~~

長ければ長いほど、そこで買い戻された。

~~~~~

抵抗勢力が非常に大きかった。ということを示します。

~~~~~

特に天井圏での長い上ヒゲ。

~~~~~

底値での長い下ヒゲ。

~~~~~

というのは、トレンド転換のサインとなりやすいです。

ピンバーと呼ばれるものですが、

こちらはまた別の機会にお話ししますね。

天井圏で出現した上ヒゲは「抵抗帯」

下ヒゲは「支持帯」

いわゆるレジスタンスサポートと言われたりもしていますね。

これは多くの相場の参加者、市場参加者によって、

そこは無理だと思った価格帯だということです。

もちろん、そこでヒゲが出たからと言って、

トレンド転換を狙ってエントリーするというのは、

ちょっと考えが早いかなと思います。

そこで、移動平均線や水平線、

もちろんフィボナッチリトレースメントなど、

様々なものをお使いいただくかと思いますが、

併せて考えていくのがよろしいかと思います。

【酒田五法って使えるの？】

☆酒田五法とは？

酒田五法は日本古来の罫線の中でも最も古典的で、

罫線分析の基本としてとても有名な手法です。

酒田五法では、三山（さんざん）

三川（さんせん）

三空（さんくう）三兵（さんぺい）三法（さんぽう）という

5個のチャートパターンが基本になっています。

よくお聞きしますね。「包み線は買い」など。

これは私なりの回答を言いますと、

「使えるときもあるし使えない時もある」と言えます。

曖昧な答えにはなってしまいますが、

正直言ってあてにならないと考えた方が良くかもしれません。

なぜなら、ローソク足の並びのパターンというのはどうしても、

後付けになってしまいます。

完成したチャート上で、この並びの時は上がります、

下がりますというのは後付けの根拠なのかなと思います。

酒田五法というものがFXではうまく使えないというのは

また別の理由もありますが、

その理由に関しては通貨ペアという言葉がキーワードになります。

酒田五法を知識として学ぶことは悪くはないですが、

過度の期待や信頼は置かない方がよろしいのではないのかなと思います。

以上が私のローソク足の見解、理解になります。

今後とも一緒に勉強していけたら幸いです。

動画解説はこちら



★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

＜動画＞【年収6億円FXトレーダーが「ろうそく足」を語る！

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

=====

以上です！！

それでたぶん「ろうそく足」ってのは多くの方が

使ってると思うのですが

この山之内さんほど「ろうそく足の意味」を考えてる人も

超少数だと思います。

特に以下の文章が大事ですよね！

山之内さんが「そのろうそく足で各トレーダーが

どういう判断をしているのか？」という

「人」を見ようとしているのがよく分かります。

「

高値、安値というのは、

~~~~~

多くのトレーダーがそれをOKしなかった。

~~~~~


つまり、「その値段は高すぎる。」

「その値段は安すぎる。」ということで、付いた値段。

高値というのは、「ここは高すぎるから売った方が良い。」

~~~~~

と考えたトレーダーが多かったというところがあり、

~~~~~

逆を言えば、安値の場合「買った方が良い。」

~~~~~

と考えたトレーダーが多かったという証拠です。

~~~~~

」

「

そしてこの四本値の中で、

たったひとつ終値というものだけが、

~~~~~

参加しているトレーダーの中で

~~~~~

誰も売りも買いもしなかったという値段になります。

~~~~~

つまり、その大多数のトレーダーによってOKされた値段だからこそ

~~~~~

終値が最も重要視されると言われています。

~~~~~」

この辺の「ろうそく足の本当の意味」みたいなところを

毎回考えているってのが山之内さんですが

だからこそ年収が6億円なのだな、ってのも分かりますよね。

やはり大金持ちってのは

「ろうそく足一つの見方が違う」ってのが大変勉強になると

思いますし、

こういう突っ込んだ動画や説明はユーチューブなんかでは

出てこないと思います！

ちなみによく損きり判断で一定のラインが引かれていて

そこで買いの場合、「終値がそのラインより下であった場合は損きり」

というルールがあつたりしますが、

これは実は上に書いてある

終値ってのが大多数のトレーダーにとってOKされた

売りも買いもされなかった値段である、

という終値の重要性を理解してるからなんですね。

以前扱った若い20歳のトレーダーの末永さんも

「終値ベース」でトレード判断されていましたが、

やはりろうそく足の「終値」は大事なのだ、ってということですね。

ちなみにこれも検証すると面白いでしょうが

普通の多くのトレードルールは

終値で損きりではなく、

そのろうそく足形成中の途中の値で

それがストップ価格に到達したら損きり、となってます。

実は、多くの証券会社のストップ機能にはまだまだ

改善余地があるのが実際に、

「終値でこの価格より下だったら決済」とかの機能は

ほとんどのところについていないものです。

逆にそのように決済すると、だましの決済なんかも

減らすことができるわけですね。

それも「終値が大事」と知ってるからできる話ですよ。

だから終値こそが多くのトレーダーが

その価格に同意して OK して売買されなかったことを

示すので

やはりこの「終値ベースの損きり決済」ってのは

勝率をあげるためにはかなり効果的なので

検証してみるとよいと覆います。

ということで「ろうそく足の本質」を学んでもらってますが

ろうそく足一つとっても・・・

こんなに深いものなんですね～

だから山之内さんがよくおっしゃりますが

それらを学ぶってことが結局 稼ぐまでの

本当の近道なのだ、ってということです。

**ということで是非今日からこの山之内 FX 無料講座が**

**開始されましたので**

**ブログ形式でどんどん更新していく予定なので**

**お楽しみに！**

**まずは最初からガッツリ、濃い動画3つアップロードを**

**初級編でしておりますので**

**是非見てみてくださいね～**

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**【無料動画】 1年で6億4千万円を築き上げた  
FXトレーダーから学ぶ！**

**1年で6億4千万円を築き上げた  
圧倒的トレード戦略を代暴露！**

**相場の本質を学ぶための**

**<動画> 【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】**

**⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>**



<動画> 【FX で年6億円を稼ぐ  
山之内流 時間軸の法則とは! ?】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=170>

【山之内 FX 講座】（初級編で動画×3本をアップロードしてます!）

⇒ <http://yamanouchi-school.com/>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＝＝＝＝＝＝＝＝＝編集後記＝＝＝＝＝＝＝＝＝

さてさて、埼玉県参院補選が終わりました

日本のトランプ、こと立花さんは

事前に想定していた負けシナリオのために準備していた

海老名市長選挙で早くも行動されておりますね～

なんと「海老名をドバイに」するらしい・・・笑

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【海老名をドバイに】

海老名市長選挙出馬会見 NHK から国民を守る党 立花孝志

<https://youtu.be/3YJqmsHuJPU>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、それで私なんかはこの立花孝志っていう人が

2025年あたりをかなりフォーカスして

まず次の衆院選で議席を大きく伸ばすかどうかを

注目しているのですが

それもありまして今回の埼玉県参院補選で

どれくらいの票を獲得するのか？を注目していましたが

投票率が20%と超低いのもありまして

票数は少ないものの、

(投票率20%ってもう選挙自体成り立っていないと

思うのですが)

ただそれでも上田陣営は組織票は強かったですが

ただここで立花氏が16万8000票も取ってしまった

ということですよね。

有権者数600万人の選挙区において

約17万票ですが

2,8%前後取ってしまったわけです。

ちなみに今回埼玉県参院補選で立花さんに

投票したタイプの人ってのは根っからの反既得権益の

思想の人らでして、

例えばアメリカのトランプ大統領なんかには一定のシンパシーを

感じてる人たちがN国党に回ったはずでして

かなり積極的に投票した人たちばかりでしょう。

世間であんだけ叩かれてるN国党に入れるのですから

やはりそれは「あんたちよつと ふざけすぎてるところはあるけど

それでも あんたみたいな人しか既得権益は壊せない」

みたいな考え方で入れた人たちであって

積極的支持者が明らかに多いだろう

と私は分析してるのですが

そしてトランプが現れたときも私は当時

相手にされていなかったトランプ候補についてそういうことを

書いていたけど、

どうもこの600万の選挙区で約17万票

取ってるってのは結構すごいな、ということです。

参院選挙前ならば おそらく12万票前後であったと

思うのですが

もうここでN国党の場合、

17万票取る水準まで認知が進んでる

ってことですよね。

これはたぶん、ネット社会というのは知名度に

相当なレバレッジがかかるシステムなので

それが影響してるんでしょうが、

単純にこの「伸び」は私はすごいな、と思いました。

マスコミはやはり以前にメルマガで

「それでマスコミとしては  
おそろくだけど

参院補選で立花氏が勝ってもあまり報道は  
しないだろうけど、

負けたら

「立花負けたぞー！！」

と比較的大きくネガティブ報道することが  
想定されるけど、

たぶんこれも計算されてると思われませんか。

」

と書いたとおり、

まさに喜んで立花落選を報道してますが

(ちなみに投票率を上げたくないものだから、

埼玉県参院選補選中はほぼ報道なかった)

が・・・やはりここで17万票近く取ってきたのは

私が注目したことです。

たった3ヶ月で参院選以前は12万票前後しか

投票率20%の選挙では取れなかったであろう

N国党が17万票近く取るようになってきてるわけです。



正直12万票というのも以前は取れなかったはずで

大体個人的な観測だと7~11万票、600万人の有権者で

20%投票率なら取れたら御の字みたいな状況が

N国党の以前の状況であったでしょうが

明らかにもうマスコミがどんなに批判しても

大声では支持しないけどこっそり投票する人

つてのが増えてるんでしょう。

3ヶ月くらいで30%前後はおそらく潜在的な支持者

増やしてるんですから

これはやはり立花氏が

近い時期で安倍首相の解散をにらんでる

衆院選・・・

N国党は

おそらく議員数を伸ばすんだらうな、ということで

この600万人の選挙区で組織票がほとんどの投票率20%の選挙で

16万8000票取ったってのは注目ですよ。

今立花氏が落選して大喜びのマスコミたちは

まさにトランプがヒラリーを破って大統領になったとき

大いに恐れおののきましたが

まさに似たような事態が近年中に日本に起こるかもしれないですね。

それで立花氏は最近「戦略的にぶっ飛んでいて」

これがトランプ大統領を彷彿とさせますが

早速 参院補選のときに

負けたときのシナリオの際の海老名市長選立候補を

おっしゃってましたが

もう公約がぶっ飛んでました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【海老名をドバイに】

海老名市長選挙出馬会見 NHK から国民を守る党 立花孝志

<https://youtu.be/3YJqmsHuJPU>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

公約がなんと・・・

■ NHK の受信料を未払いの世帯に年間 5 万円の助成金！

■ 市役所職員の給与を現行の 2 倍にして NHK 職員並みとする！

というんでもない？ ものです。

そして

**「神奈川県海老名市を日本のドバイにするのだ！！」**

**とまで立花さんは言っている。**

**ちなみに**

**NHKの受信料を未払いの世帯に年間5万円の助成金！**

**っていう公約については、マスコミは後者の**

**市役所職員の給与2倍っていう公約だけ流して**

**このNHK不払いの世帯には年間5万円の助成金**

**の話は報道していないところもありますが**

**それくらい既得権益のNHKは強いのだな~というのは**

**どうしても感じてしまうところですよ。**

それでとりあえずこの2つの公約みて多くの人が感じるどころ

ってのが

「あ、この面白いおっちゃん、勝つつもりないな」

っていうことだろうと。

どう見ても勝とうという政策ではないですが

ただこれは・・・

そう、海老名市長選挙なんかはこの立花さんは勝つつもり

ないんだ、ってのは以前にやんわりと表現、話していたことで

これは以前 PDF でも扱いました。

それよりは「衆院選のときの「特典」」を作るためなんですね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画 PDF】衆院選に向けて動く N 国党・立花氏の選挙戦略から  
投資家が学ぶこと！（マキャベリズム）**

**[http://fxgod.net/pdf/tachibana\\_makyaberi.pdf](http://fxgod.net/pdf/tachibana_makyaberi.pdf)**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

上記以前 書いた PDF の引用ですが

「

次のシナリオで

シナリオ 2

負けた時の海老名市長選立候補、

も戦略として入れているわけですが、

これが大事で、

彼の場合はさらに

海老名市長選挙で立候補して  
勝とうとはしていないと。

どちらかというと  
メルマガでよく書く考え方だけど

負けないようにしてる、  
としての感じが強いですね。

海老名市長選挙の立候補の  
目的はこの動画曰く、  
ある種宣伝なのだ、ということで

すなわち

ここで市長選と同時に



市議会選挙があるのだけど

ここで三宅さんという方を立候補させて  
市議会選挙通させたいと。

そのためにはどうしても  
投票率が必要であるけども、

そこで投票率を取るために  
立花さんがある種の広告塔になって

海老名市長選挙に出て  
市議会選挙の投票率を上げて

そして三宅さんを地方議会に  
送り込みたい、

ということなわけです。

」

以上です！

ということでした、

やはりこの三宅さんっていう方を地方議会に送り込めるかどうか？

が実は重要な点なんでしょう。

だから立花さんの戦略として

■ NHK の受信料を未払いの世帯に年間 5 万円の助成金！

■ 市役所職員の給与を現行の 2 倍にして NHK 職員並みとする！

っていう「とりあえず面白い政策」をぶつけてきてるわけですが

これは確かに投票率を上げるという意味では

面白い、ですよ。

とりあえずこれは支持するしないの前に

多くの人が 笑ってしまう政策ですが

ただそこでどうしても話題になる。

ただ・・・私なんかはトランプ分析とかを良く書いている

関係で

彼のこの政策を見て

「ああ、日本にもついにこういう政治手法が

誕生したか」

というのを驚いたのですが

まず上記政策を見たら普通に N 国党を支持してる人からしたら

**「あれ？反既得権益のはずなのに**

**めっちゃ既得権益の公務員給与 2 倍とか言ってるんだけど」**

ってなるわけですね。

ただおそらく支持者の人たちは「裏側」も読む能力の

ある人たちです。

それでこの

■ NHK の受信料を未払いの世帯に年間 5 万円の助成金！

は NHK から国民を守る党の分かりやすい政策だから

まあいいんですが、

ただ議論になるのが

- 市役所職員の給与を現行の2倍にしてNHK職員並みとする！

これですよね。

ただ私なんかは感じたのですが

この公約を長い間見せられると

とりあえず「NHK職員ってそんなに給与高いのか・・・」

あの受信料を原資としてるのに・・・」

という感情は多くの人にわきますよね。

どう見てもこれは長い目で反NHKの感情を多くの人に

作る結果となっていく。

あと海老名市の職員ってのは、結構地方公務員の平均よりも

高い給与もらっていてとりあえず平均は650万円前後の

給与だったと思いますが

ここでも嫌でも

「海老名市職員の給与はいくらなのか？」

って気になってしまうわけですね。

おそらくこの辺を目的にしてるんだろう、ということですよ。

それで私が「ついにこの政治手法をする人間が

日本でも現れたか」と驚いたことってのが

まさにこの政策なんだけど

これって実はトランプが中東で米軍撤退する際に

やってきたこと、なんですね。

そう、それはメルマガで良く扱うトランプの

軍産官僚の利権に対抗する戦略である

「過激にやって失敗を誘導する戦略」

ですよ。

ちなみにこれはメルマガで良く書くことなんだけど

「戦争反対～」という人はいますが

私なんかは2013年～2014年あたりでしょうか

メルマガで

**「本当に戦争をなくすにはどうすればいいか」**

みたいな話をよく自分なりに考えて書いていたのですね。

そこで私も色々実験をしたのだけどそこで分かったことが

ありまして、書いていたけど

それは

**「戦争するぞ～～どンドン戦うぞ～～！！」**

**と過激に言うのですね、その戦争を遂行する勢力は**

**実際はどンドン弱体化するんですよ。**



この「過激にやって失敗させる」というのは

以前は 米軍に対して多極側がやったことですが

そこで米軍に イラクを攻撃させた。

そこで「大量破壊兵器があるのだ～～！」という

嘘を信じ込ませて、それで過激にイラクを攻撃して

フセインを処刑したわけですが

あれが国際的な非難となっていて

それが現在の トランプに追いやられる軍産複合体の

状況につながってるわけですね。

これ、重要なことなのですが官僚や軍産ってのは

「過激にやられると困る」のですね。

これは重要なことだけど、例えば戦争を起こそうとする場合

「徐々に 徐々に 戦時体制への変化に国民を慣れさせる」

必要があつて

これはおそらく米軍なり諜報で

「どの程度の 徐々に戦略 だと民衆からの蜂起が

起こりづらいか」

みたいのは研究されてるはずですよ。

だから社会体制を変革する場合、例えば戦時体制に変革する場合

「徐々に徐々に」変化させる必要があつて

それで準備が整ったら一気に国民を戦争に巻き込ませる

ってことが必須ですね。

官僚たちの得意なことはこの「徐々に徐々に」

であって

それは消費税でもそうでした。

消費税は3% 5% 8% 10%と上がってきたわけですが

例えば 最近10%に上がったけど

多くの民衆が「もう仕方ない」と諦めモードなわけですが

ただこの「もう仕方ない」っていうある種の動物反応も

ちゃんと冷酷に研究された上で 出てきた大衆反応なんですね。

軍産とか諜報は社会工学っていうんだけど

一つの共謀な民族をいかに コントロールできるか？

みたいな研究って昔からやっているんですが

それが例えば消費税ひとつとっても

応用されてます。

それでこの「徐々に大衆を不利益に慣らす戦略」

ってのは現代の大衆支配にとっては必須の支配方法なんだけど

それを逆手に取ったのがトランプ大統領で

彼の場合は

「おい、軍産官僚よ、お前らはイランや北朝鮮や中国が

嫌いだろう？ だったらもっと強硬に対応しろよ！

そっちのほうがいいだろう！ 過激にもっと敵対しようぜ！」

とやったわけですね。

それでこうなると困るのは軍産官僚たちで

彼らなんかは、「戦争にならない一歩手前の緊張状態」

ってのが平気は費消できるわけで

お得な状態なわけですが

ここでトランプ大統領が過激に敵対的に他国に振舞うのに

相当困ったわけですね。

「確かに敵対しているけど・・・そこまで過激にやられてしまうと・・・」

ということで

トランプに軍産官僚たちはうまく振り回されて

結果・・・この前の中東からの米軍撤退という

極めて平和的な結果に収束させられてしまって

軍産官僚たちは利権を失ったわけです。

この「過激にぶちあげてそれでその 政策を潰す」

というのが実は現代の政治工作ではかなり強い方法で

それが実際に国際政治で成功してる事例が多く出てきてるのだけど

おそらくこの立花さんのやり方もそれなんだろう

ということです。

明らかにおかしいですよね？

あの反既得権益を言っていた人が急に

既得権益側に寝返ったように

「公務員の給与を倍にします！」とか・・・（笑）

それで動画内で経済理論を一応言ってますが

立花さんは分かってるはずなのに敢えてめちゃくちゃ言ってますよね。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

【海老名をドバイに】

海老名市長選挙出馬会見 NHK から国民を守る党 立花孝志

<https://youtu.be/3YJqmsHuJPU>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

それで実はこの動画で極めて重要な人物の名前が

でていて

それが竹原信一さんです。

あれ？と思うと思いますが、そうです

私のメルマガでもよく名前が出る方で



以前 阿久根市の「ブログ市長」と言われた方です。

彼のすごかったところは既得権益の阿久根市の地方公務員たちの

実際の給料を「公開」してしまったことなんだけど

これがまあすごかったんですね。

これらの公務員給与って「謎に包まれてる」のが現実で

官僚たち以外、誰も知らないわけですが

これが公開されたら「すごかった」わけです。

なんと実際の年収900万円越えの人ばかりでして

これが阿久根市の竹原さんによって公開されてしまった

わけですよ。

それで竹原さんはその後正直に「公務員給与は高すぎる」と

やったがためにどうなったか？

というと「マスコミに総リンチ状態」で潰されたわけですね。

ちなみに、これと同じようなこととして

2009年の小沢鳩山政権のときも

小沢さんらが 官僚の利権の財布である「特別会計解体」

に向けて動いたのだけど

それは強烈な抵抗にあって潰されたわけです。

だからこれ重要な教訓で日本の官僚機構周りの利権ってのは

すごい強いもので

真正面から戦ってもなかなか勝てないってのが

教訓ですよ。

それでじゃあここでどうすればいいのか？

という話になります。

ちなみに 消費税増税に実際賛成してる民衆なんて

ほとんどいないわけですが、

それでもマスコミでは賛成してる人が多いってことになってるけど

まあそのアンケートも怪しい。

ただここでやはり戦争反対～と叫んでも戦争はなくならないように

共産党のように 消費税反対～と叫んでも消費税は

絶対になくならないわけですね。

日本の左派ってのは単純に民衆の怒りの矛先が

日本の実質の支配者である官僚たちに

向かないようするための「ガス抜き」でしかない。

彼ら左派のやることはいつも「反安倍政権」とか言って

官僚たちが背後に控えてるのを隠すことにある

ってのはもう大多数が気づいている。

だから彼らはポーズでは戦争反対～とか消費税反対～

とか正義ぶって言うけども、

それはポーズでしかないですよ。

本当は共産主義においては強力なエリート官僚というのが

必須であるから 彼ら左派はどうしても思想上、

官僚擁護となる傾向がある。

じゃあ具体的に本当に本気で消費税をなくそうと

マキャベリズムの視点で考えたら

どういう政治が必要かということですが

それはやはり「消費税は30%が妥当です！」とか

そんなことを嫌われてもよいから言える政治家が出ることであります。

こうやって過激に消費税増税を主張していくのが

実は最も官僚たちが嫌がることであって

彼ら官僚の消費税税率引き上げ政策は

3 ⇒ 5 ⇒ 8 ⇒ 10

と2, 3%刻みだったことから分かります。

ここで一気に

「10%では足りない！20%や30%だ！」

という主張の政治家が出て来て、なおかつ、

彼がマスコミたちから支持を受けていたら・・・

いよいよ本当に 無党派層たちは「やばいぞ」ということで

動き出す。

これが本当に現代の政治技法による

官僚たちへの効果的な攻撃でしょう。

それはトランプがまさに軍産官僚たちに対してやってることの

応用です。

それで実はこの「（他の地方公務員よりも給与高めの）

海老名市の職員の給与を2倍に！」

っていう政策もそれに似ていて

これは人事院たちが

「徐々に徐々に 民衆から反発でないように

公務員給与を上げてきたのに」

その 民衆から反発を受けないように、

徐々に徐々に上げてきた人事院の戦略をぶち壊す策

ですよね。

といってもこれが大事なところで彼ら人事院だったり

官僚や公務員も「給与を民間に合わせてあげていくべきだ」

ということを主張してるわけですから

その2倍っていうのには表立って反対できないわけです。

「いや～2倍ってのはさ～～高すぎる気もするけど

うーん」

くらいにしか言えない。



**トランプ大統領がまさに最近そんな政治をしていたけど**

**どうもそんな政治技法を使う人が日本に出てきたってことですよね。**

**だから本当は NHK をぶっ壊せ！よりも**

**「スマホからも、誰からも NHK 受信料を取ります！**

**そして受信料は3倍にします！**

**そして NHK の職員の給料を年間 1 7 0 0 万円では**

**足りないから**

**3 0 0 0 万円にしましょう」**

**くらいのほうが本当に「長期で」再起不能にするならば**

**そっちのほうが政治工作としては優れてるかもしれない。**

今までの日本の政治は ある種「正論」を言って

それで真っ向勝負して、

悲しいことに官僚たちが全勝してきたという

政治なんだけども、

ここで

「過激にぶち上げて過激に既得権に同調して、

それで既得権の戦略を崩壊させる」

という手法を実際に実行したのがトランプ大統領だけど

これが本当に強かった。

今までどの大統領もできなかった

中東からの米軍撤退をトランプはついに実行できてしまった。

だから

おそらく既得権益の本当の破壊方法はこれなんですね。

それで私なんかはトランプ分析でよくこれを書いてるものですから

この

■ 市役所職員の給与を現行の2倍にしてNHK職員並みとする！

という政策を見て

「これはトランプの政治技法を応用したものではないか」

ってのは強く感じ取ったことです。

というのは立花さんは阿久根市長だった竹原さんと

仲良くて、以前にN国党にも竹原さんが関わっていたのだけど

ここで竹原さんに色々 仕掛けた上で負けに至った

経緯も聞いて知ってるはずなんですね。

仲良いはずです、お二人は。

ということはどうも、違う戦術で 反既得権益を攻撃する

という以前は諜報機関が使っていたような政治工作を

立花さんも導入しだしているのかな、なんてのは

私が見ていた点ですね。

これはトランプの政治技法の分析はN国党の上杉さんが  
相当やってるから、それを応用してるのかもしれないし

もう既にある程度何かしらのバックグラウンドがついてるのかもしれない。

いずれにしても日本でこういうトランプ的な政治技法が  
いよいよ使われだしたってのは私は大変注目しました。

立花さんは普通に見るとおそらく頭がおかしい人に

見えてるんでしょうが

よく見ていると相当研究されていて

トランプの成功している反既得権益の戦略を

導入してきていると私は思います。

この

**「過激にぶち上げて、それで失敗させる戦略」**

ってのは名前がまだついていないだろうけど

おそらくこれが世界の政治技法の潮流になるのかも

しれない。

ちなみに金融部分で言うとトランプのQE 4が開始した

って書きましたが

あれもそのうちの一つなんですね。

QE 4ってのはジャブジャブマネーですが

あれで「過激に金融緩和をしまえば」

それで本当に長期的な視野で

債券金融市場は壊せるんです。

(例えば誰かが、暗号通貨市場を壊そうとして

2017年にバブルを作ったけど

ああやって過激に買わせたりバブルを作成することで

その市場を壊すことができる。)

米ドルの債券市場崩壊を

させたくなかったのがFRBの前イエレン議長でしたが

彼女は「徐々に利上げ」したかったですよね？

この「徐々に」が大事なワードですが

ここで一気にトランプが米ドル覇権をぶち壊すために

「過激に QE 金融緩和を再開」させたのが

この2019年10月でした。

しかもその QE 4の拡大スピードたるや少しおかしい、

くらいに勢いがすごい。

ああやって「過激にやることで 破壊する」

という工作方法ってのが最近のおそらく

諜報機関なりの流行なんだろうと思いますが

立花さんのやり方もそれに類似してますね。

ちなみに海老名の20~40代くらいの人なんてのは

実際の話、給与水準で大体



年収280万円～300万円ちょっとの人が多いわけですが

(統計にはあまり出ていないだろうけども)

そこでじゃあ公務員の給与が現状700万円近くある中で

それが1300万円とか1400万円になったら

一体 海老名の人たちはどう反応するか？ということです。

「いや、さすがにそれはまずいでしょ」となるわけですが

もしこんなのが本当に政策で通りますと、

いよいよ「公務員の給与高すぎて夕張のようになってしまうから

ちゃんと公務員の給与考えよう」

という議論になっていく。

これは公務員給与ってのは人事院たちが勝手に

自分たちで決められるシステムであるけど

彼ら人事院は国民から批判を受けないように

この数年「ちょっとづつ、ちょっとづつ」あげてきたのに

この「過激に公務員給与を上昇させる」という政治だと

その今までの彼ら人事院たちの 既得権益の戦略を

長期的には破壊できるんですね。

私なんかも以前書いてるかもしれないけど

本当に公務員給与と比べてのが民間の2.3倍以上ってのは

おかしいですから

それを本当に変革するにはこういうトランプ式の

やり方しかないんだらうと最近考えてるのですが

もろに立花さんの戦略はそれに見えます。

立花さんが以前に「茹でカエル」の話をしていたことが

あって、

それは「徐々に温度をあげていくとカエルがのぼせて死んでしまう」

っていう話をしていただけ

おそらくその話をしていたことからすると

官僚たちの「徐々に徐々に既得権益を広げていく戦略」

は見通してるはずなので

それを破壊するにはまさにトランプ式の

「過激にぶちあげて過激に同調して

既得権益を破壊する方式」が強いつてのは

彼は知ってるはずなんですね。

まあだから日本の政治家もいよいよ国際標準の

新しい政治技法を活用しだしている可能性が高いですね。

それでこの前の参院補選で

数ヶ月前であつたら投票率20%ならば

12万票前後しかとれなかつたであろう

N国党が17万票取つてまして

さらにこういう新政治技法を取り入れてるところから見ると、

立花さんや上杉さんがまず最初の戦いと位置づけてる

衆院選ですが、マスコミの思惑と違い、

結構議席を伸ばす確率が上がってますね。

さらにその後の参院選、そして2025年前後でしょうか

衆院選があるはずですが

この2025年前後の衆院選で一気に

力を持つことをN国党は狙うでしょうが

そのあたりには 今と違って日本政治で無視できない

勢力に育つ可能性は今のところありそうです。

それで「海老名を日本のドバイに」っていうことで

これはどうしても笑ってしまうキャッチフレーズですが

(ちなみに海老名は今でもカエルがちょっと歩けば

夜に鳴いてたりする地域であるはず。)

このコピーも宣伝としてよく考えられていますから

やはり N 国党の知名度はさらに上がっていくんでしょう。

それで

「なんか テレビの報道見ている

ふざけてる人だと思ったら

YOUTUBE 見たらめっちゃ まともな人だった」

みたいなことがこれからまさに

アメリカでトランプ候補が支持されたときのように

起こりそうですから

そういう意味では今のところ N 国党が

「右からの反エスタブ」として育つかどうかは

注目ですよね。

ということで これまた彼の話題作りの面も否めませんが

どうしても ビナヨークを抱える海老名に注目が

集まりそうです。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみに私が最近考えてることってのが  
まさにトランプの政治技法をあらゆる面で利用することってことで

例えば

日本ってのは共和党のような小さな政府を目指す政党ってのは  
存在しないわけですね。

自民も国家社会主義で大きな政府ですし

野党も共産主義で大きな政府、です。



いずれも官僚独裁国家の政党政治の弊害だろうと思う。

多くの日本人の特徴としてあまりにも同調圧力が

強いものだから

そこで「ちょっとづつの増税」には慣れてしまう人が

多いわけです。

ただここで小さな政府を作りたいと思うのであれば

そこでやはりトランプ流の

「過激にさらなる増税を主張して

そしてさらに大きすぎる財政に無駄が多すぎる政府

を主張する政治」

つてのが結局 最終的な小さな政府につながるんだろうな

ということです。

特別会計解体も真正面から切り込んでも

なかなか難しいってのは2009年の小沢鳩山政権の

教訓ですから

それならば特別会計をさらに拡大させて

もうほとんどの会計を民衆に見えなくして

そして官僚たちにもっともっと天下りさせましょう～

みたいなそういう政治だと

いよいよ呑気だった人々も、羊だった人々も

官僚独裁政治の危険性に目覚める。

これは以前は諜報機関たちが行っていた政治工作であったけど

そろそろそういう政治が日本でも必要になってきてる

ということなのでしょう。

まあなんとも日本の政治は面白くなってますね。

それでは！

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**【無料動画】 1年で6億4千万円を築き上げた  
FXトレーダーから学ぶ！**

**1年で6億4千万円を築き上げた  
圧倒的トレード戦略を代暴露！**

**相場の本質を学ぶための**

**<動画> 【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

**<動画> 【FXで年6億円を稼ぐ  
山之内流 時間軸の法則とは！？】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=170>

【山之内 FX 講座】（初級編で動画×3本をアップロードしてます！）

⇒ <http://yamanouchi-school/>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆